

●ポイント

マイクロソフトだからこそ提供できる トータルパッケージ

マイクロソフトなら、**ハード** も **ソフト** もいろいろ選べて組み合わせ自由！

 複業先生

外部人材による探究活動支援プラン
外部人材による、児童・生徒向け授業・教員向け研修

P.3~



 Microsoft

使い慣れたツール上で使える生成 AI “Copilot”



P.8~



 Microsoft

次世代 高スペック AI 端末 “Surface”



P.12~

学校と複業で先生をしたい外部人材をつなぐマッチングサービス『複業先生®』

●ポイント

- 教育現場が、教育にかかわりたい多様な外部人材に授業をお願いできる外部人材活用サービス。
- 教員だけでは手が回りづらかった**探究学習、プログラミング、キャリア教育、グローバル、IT、起業家教育、金融教育、性教育**などの各領域において、外部人材の知見やネットワークを手軽に活用することができ、児童・生徒が社会とつながりながら学びを深める「社会に開かれた教育課程」を目指しています。
- 『複業先生®』に登録されている講師は2,500名以上！その外部人材の知見やネットワークを手軽に活用可能。
- **AIを活用した“学びレポート”**を用いて生徒の学びと変化を可視化することで、授業の効果・有効性を明らかにし、振り返りがしやすくなります。
- 専門家に頼ることで、教員の業務負荷軽減にも繋がります。

● 概要

外部人材を活用した授業を、もっと気軽にし
教員不足の緩和・子どもたちへの多様な教育をサポート

複業先生

学校と複業で先生をしたい外部人材をつなぐ

民間人材の知見や
ネットワークを
手軽に活用できる

児童・生徒は多様な
生き方や考え方に
触れる機会に！

授業を依頼したい



学校・教育機関

Web上でマッチング

複業先生

複業で先生をしたい



外部人材

教員免許はなくても
教育に興味あって
関わりたい人が
活躍できる。
自分の専門分野を
活かす機会に。

2,000名
複業先生登録



15,000名
利用生徒



350校
導入学校

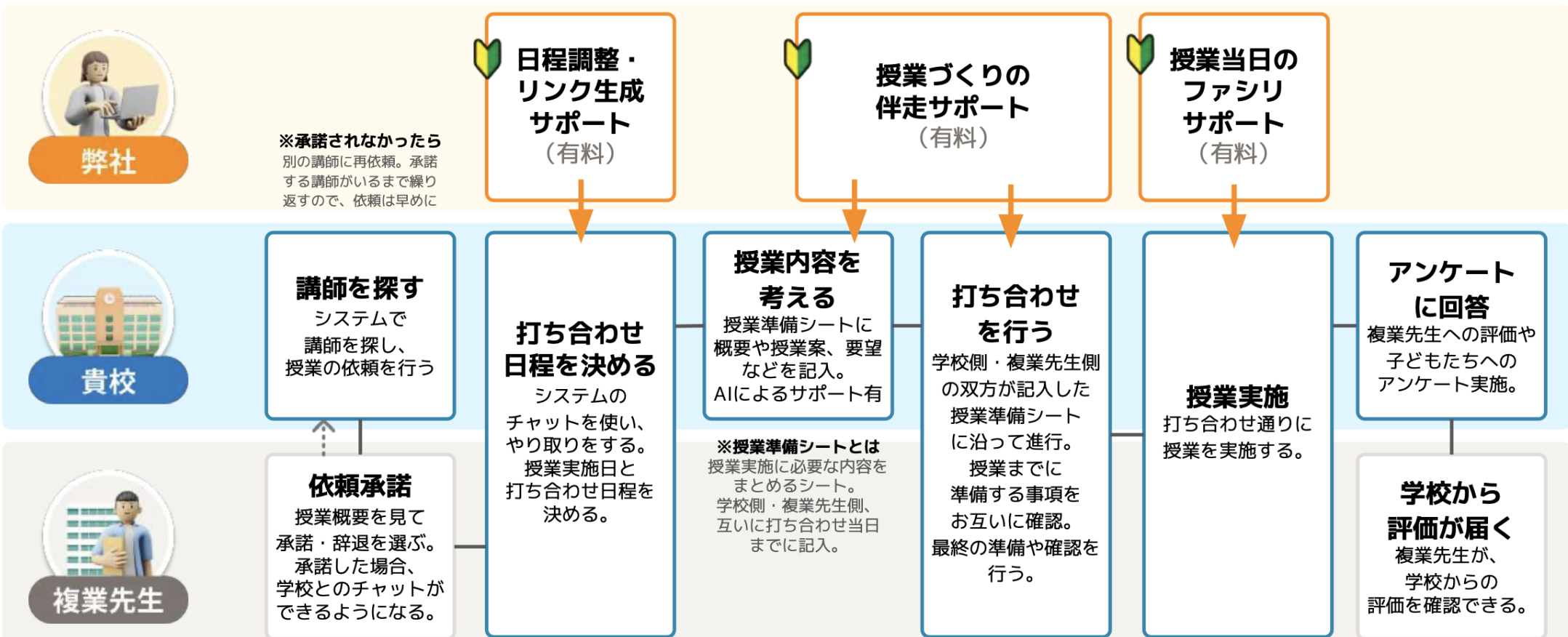


93.4%[※]
授業満足度



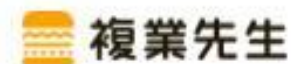
※授業後アンケートより生徒からのポジティブ評価

授業実施までの流れ



どんな授業が行われているか／どんな複業先生（登録講師）がいるか

数字で見る複業先生®



複業先生登録者

2500名

※仮登録者含む



授業テーマ ※複数選択可



地域構成

47都道府県すべて網羅

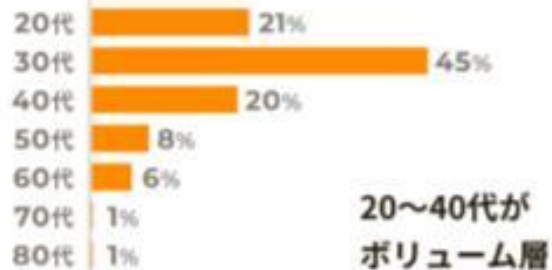


教職免許保有者

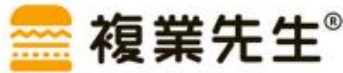
免許なし 77%
免許あり 23%



登録者の年代



授業イメージ



事例紹介【複数回授業】

東京都内の学校

生徒・教員が探究学習に取り組むためのマインドセットを

生徒も職員も、調べ学習は経験があるが、探究的な学習/その発表の経験がないことが課題。2～3年生も調べ学習と探究的な学びの違いはよくわからずに発表会や学習を進めており、今年の総合的な学習の時間のテーマを「自分を展く（ひらく）」としたことから、探究学習を促進させたいという目的で複業先生を活用。自らが課題と感じることから、自分ができることや取り組みたいと思うことについて、自分の意見をもち他者に説明できる生徒を育てたいという希望を実現するため、元教員で探究学習の教材研究や授業開発を行っている松村さんに、3回、同校に登壇いただいた。

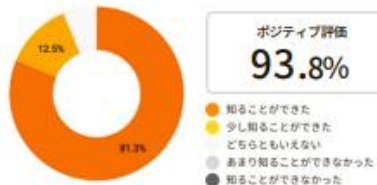
カリキュラムの概要：対象を分けて3コマセットで実施

- ①【導入】探究学習とは？・テーマの決め方（1年生向け）
 - ・探究学習ってなに？、探究学習はなぜやるの？、テーマを決めるまでの流れ
- ②【全校講話】社会課題とのかかわり（全校生徒向け）
 - ・社会課題にはどのようなものがあるか、なぜ私たちが社会課題に取り組むのか
- ③【職員研修】なぜあの授業は生まれたのか（教員向け）
 - ・生徒への問いの意図、授業構成全体の意図、どのように授業を作成していくか

生徒の声 (2024年7月3日実施分の学びレポートより抜粋)

複業先生授業による知識の変化

Q.知りたかったことを知ることが出来ましたか？



複業先生授業の満足度

Q.今回の授業は今後役立ちそうですか？



授業内容 (抜粋)

地方創生・地域活性・観光 探究・キャリア教育

①【導入】探究ってなに？→”問題を見つけること”探究学習をする意味・探究学習とは何かを知る授業

- ・探究のはじめは「問題を見つけること」、私たちにとっての「問題」とは何か、社会的な問題とは何か、調べ学習と探究学習との違いなどを問いを交えながら説明
- ・【グループワーク①】「外出した時に突然雨が降って困ったことはないか？」
 - ・どんなアイデアが考えられる？
 - 3人1組で考え、発表
 - ・先生方にもインタビュー
- ・【グループワーク②】テーマを狭めていく
 - ・環境問題を解決する=テーマが大きすぎる
 - 〜〜の問題を解決する、〜〜を減らす
- ・【まとめ】探究の価値、ビジネスは探究を繰り返すこと



登壇した複業先生：
合同会社 創生学舎代表
松村幸太さん

私公立あわせて20年間の教員経験あり。2024年に友人と共に合同会社を設立。現在は清瀬市で地域密着型の学習塾を運営。前任の戸山高校では、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の主任として、教材作成や研究発表会の企画・運営に携わってきた。学校の要望に応える教材作成および授業開発を行っている。

地方創生・地域活性・観光 探究・キャリア教育 教員研修

③【教員研修】生徒の探究に寄り添うマインドの醸成










- ・探究学習が求められる背景は「問題を見つける力の重要性」「社会全体で既存の知識や従来の考え方が通用しない複雑な問題が増えているため」
 - これまでの生徒の授業はどのような意図があり構成したのか、探究の生徒の伴走方法についてレクチャー
- ・授業を実施した感想
- ・授業づくりで意識した点（2回分）
 - 調べ学習との違いを強調、「自分ができること」のイメージをつける、問いを掘り下げる
 - 問題を分解する、テーマの範囲を絞る、具体性のあるアクションを見つける
- ・【ロールプレイング】



● 使い慣れたツール上で活用できる生成AIツール Copilot

普段使い慣れているMicrosoft 365アプリを使いながら学習や校務でもお手軽に生成AIの力を活用！

Microsoft Copilot / Microsoft 365 Copilot

 Microsoft Copilot (無償でご利用可能)	画像生成や Web上の検索を Copilotが支援	 Word	読む、書くを Copilotが支援	 Whiteboard	協働学習を Copilotが支援
 Copilot Chat	組織内の ナレッジマネジメントを Copilotが支援	 PowerPoint	プレゼン作成を Copilotが支援	 Excel	データの分析を Copilotが支援
 Outlook	メールの管理を Copilotが支援	 Teams	会議への キャッチアップを Copilotが支援	 OneDrive	ファイルの比較を Copilotが支援

*Microsoft Copilot および Microsoft 365 Copilot は18歳未満はご利用できません。

● 使い慣れたツール上で活用できる生成AIツール Copilot

利用例① : Microsoft Copilot (無償)

プレゼンテーションに使う挿絵も自動生成

探究の学習をはじめ、PowerPoint を使って資料を作成する授業は多いのではないのでしょうか。無償でお使いいただけるCopilot を使えば、プロンプトに沿ったAI生成画像を瞬時に生成することができます。また校務でも、保護者や生徒に配布する学校だよりの挿絵としての画像も作成できます。

「○○○○」をイメージした画像を生成してください。



● 使い慣れたツール上で活用できる生成AIツール Copilot

利用例② : Copilot in Whiteboard

 Copilot in Whiteboardで議論の活性化

例えばWhiteboard のCopilot を使えば、グループワークで議論すべきトピックの案を瞬時に作成してくれます。調べ学習と併用することで、柔軟な授業展開が可能になります。授業中に教員が投影しながら使用することで、議論を活性化することができます。

「○○○○」について、グループ別に調べる4つのテーマを挙げてください。



● 使い慣れたツール上で活用できる生成AIツール Copilot

利用例③ : Copilot in Excel

X Copilot in Excelでデータ分析を簡単に

Copilot のExcel を通じて、コードが書けなくても、小テストの結果などをPython を用いて分析することができます。そのほかにも、高度な分析を自然言語を用いて実施することができます。

テストの結果をPython を使って分析して

The screenshot shows the Microsoft Excel interface with the Copilot pane open on the right. The main window displays a spreadsheet with student test results. The Copilot pane contains the following text:

Identify the top 5 students based on their total scores

Get deeper analysis results using Python

I can use advanced analysis for that. Here's what I'll do once you start the analysis:

- 結果の新しいシートを作成します
- Python の数式が自動的に記述されて挿入されます
- 複数のメッセージでプロンプトに応答します

Ready to get started?

Start advanced analysis

To perform a deeper analysis of the provided dataset, the following steps can be taken:

1. Calculate the average score for each subject.
2. Identify the top 5 students based on their total scores.
3. Visualize the distribution of scores for each subject.
4. Identify students who are performing below average in multiple subjects.
5. Calculate statistical information for each subject.
6. Calculate the correlation coefficient between the scores of different subjects.

Let's start with calculating the average score for each subject.

AIで生成されたコンテンツは誤りを含む可能性があります。

△△に挿入した内容は次のとおりです:

```
[*] Python コードを表示する
```

Student ID	Japanese	Mathematics	Social Studies	Science	English	Total Score
6 S107	47	64	82	99	88	380
66 S167	96	91	73	28	81	369
45 S146	35	86	61	69	87	338
87 S188	6	81	71	84	89	331
3 S104	65	39	87	46	88	325

Distribution of Scores for Each Subject

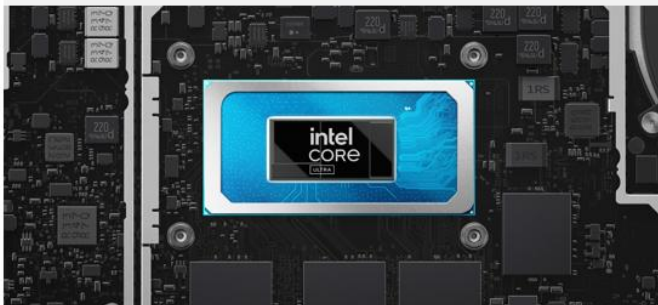
Ready

●次世代 高スペック AI 端末 “Surface”

DX ハイスクールに Surface がオススメな理由

業界をリードする最先端の AI 機能 + Microsoft の AI との高い親和性

学びを制限しない高い性能



情報 II や探究学習などの高度な学びをスムーズかつ快適に進められる、最新の Intel や Qualcomm プロセッサ搭載モデルや外部 GPU 搭載モデルなど、多彩なラインアップを取り揃えています。

さまざまなアプリとの親和性の高さ



マイクロソフトの純正デバイスだから、Windows や Office アプリ、AI の Copilot との相性は抜群。また、Windows OS 搭載なので、さまざまなサードパーティ製アプリとの互換性が高く、安心して使えます。

学習意欲を増進する細部へのこだわり



学習意欲を引き出す、こだわりの機能が満載。紙のような書き心地を実現したデジタルペン、タイピング音が均一になるよう設計されたキーボード、さらに AI 機能を備えたカメラなど、細部まで配慮しています。

まず Surface を土台として導入しておけば、その先の活用が広がります！

●次世代 高スペック AI 端末 “Surface”

令和 7 年度版 DX ハイスクール向け Surface ラインナップ

大型掲示装置・電子黒板 タイプ



Surface Hub シリーズ

遠隔授業に最適 AI 機能搭載の大型コラボレーションデバイス

端末例：Surface Hub 3 (50 インチ)、Surface Hub 3 (85 インチ)

ラップトップ / 2in1 タイプ



Surface Pro / Laptop シリーズ

AI 活用のために設計された 最先端の Copilot+ PC

端末例：Surface Pro、Surface Laptop など

学校のニーズに合わせて、柔軟に種類や台数を組み合わせ可能です！

●次世代 高スペック AI 端末 “Surface”

例① 遠隔授業の促進に活用

大型掲示装置・電子黒板 タイプ – Surface Hub シリーズ

Surface Hub 3
(50 インチ)



Surface Hub 3
(85 インチ)



導入例

電子黒板 兼 コラボレーションデバイスの Surface Hub 3 を、遠隔授業用の端末として各教室に導入

Surface Hub シリーズのオススメポイント

- まるでその場にいるかのような、自然で臨場感あふれる遠隔授業やコラボレーションを実現
- クラスの規模や用途に合わせた 2 種類のサイズ展開と、設置場所を選ばないフレキシブルな筐体

●次世代 高スペック AI 端末 “Surface”

例① 遠隔授業の促進に活用

大型掲示装置・電子黒板 タイプ – Surface Hub シリーズ



◀ 50インチモデルは縦向きでも使用可能。実寸大の映像で、より臨場感あふれる遠隔授業を実現します。



◀ IntelliFrame 機能により、教室内の人物を AI が自動で認識し、拡大表示が可能です。さらに、フロントロー機能を使えば、オンライン参加者を画面下部に表示し、まるでその場にいるような臨場感を演出します。



▲ Surface ペンを使って、Hub の無限に広がるホワイトボードに書き込めば、アイデアも無限大。ホワイトボードの内容は、Teams を通じてオンライン参加者と簡単に共有できます。

●次世代 高スペック AI 端末 “Surface”

例① 遠隔授業の促進に活用

大型掲示装置・電子黒板 タイプ – Surface Hub シリーズ

< 実際に導入したお客様の声 - 龍谷大学 先端理工学部 >

教室にある大画面の Surface Hub に、オンラインから参加しているメンバーの表情が映し出されると、全員が同じ場所にいるような感覚で授業を進められます。

ハイブリッド授業に Surface Hub を利用することで、授業での学生の一体感が増すと感じています。

- 龍谷大学 先端理工学部
助教 佐野 彰 氏



デスクトップ PC が並べられた改装前の PC 教室



BYOD のスタイルに適した改装後の実習室。Surface Hub 2S を設置

●次世代 高スペック AI 端末 “Surface”

例② 話題の AI を Surface で活用推進

ラップトップ / 2in1 タイプ – Surface Pro / Laptop シリーズ



▲Copilot キーを搭載

導入例

Surface Pro や Laptop などの AI 活用のために設計された Copilot+ PC を、約ひとクラス分導入

Surface Pro / Laptop シリーズのオススメポイント

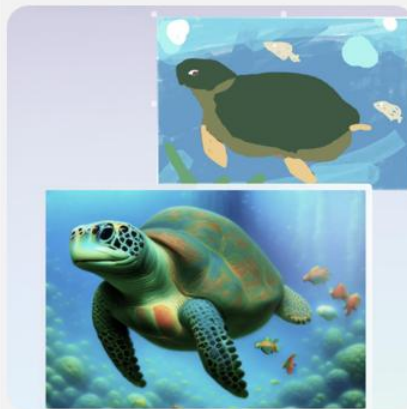
- NPU（AI 処理に特化したプロセッサ）を利用した独自の AI 機能や Copilot キー の搭載で、AI 活用が身近に
- 用途に合わせて、ラップトップ型と 2 in 1 のタブレット型から選択可能

●次世代 高スペック AI 端末 “Surface”

例② 話題の AI を Surface で活用推進

ラップトップ / 2in1 タイプ – Surface Pro / Laptop シリーズ

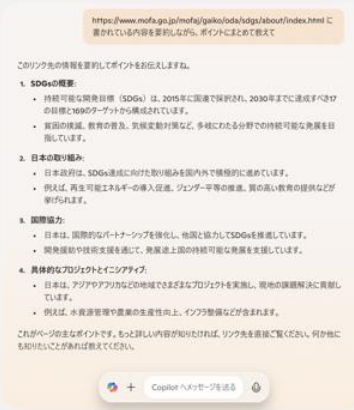
～Copilot+ PC だから実現できる AI 活用～



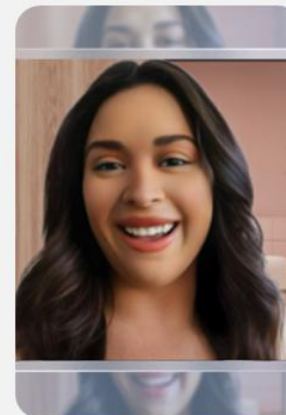
『コクリエーター』で
自分のアイデアを
AI で形に



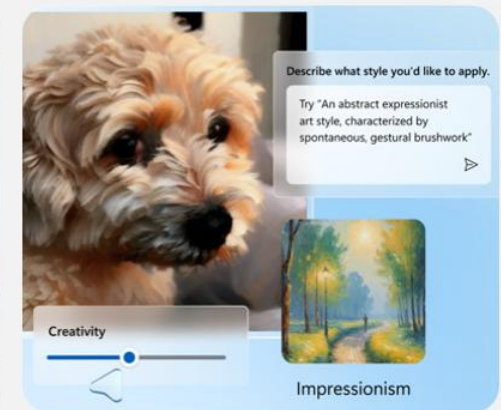
『ライブキャプション』で
リアルタイムに
英語へ翻訳



『Copilot アプリ』で
アイデア出しや文書作成、
資料の要約



『Windows スタジオ
エフェクト』で背景ぼかし
やフィルター効果を追加



フォトの『イメージクリエイター』で
無制限かつ迅速に
インスピレーションをアートに

●次世代 高スペック AI 端末 “Surface”

例② 話題の AI を Surface で活用推進

ラップトップ / 2in1 タイプ – Surface Pro / Laptop シリーズ

<活用事例 -佐賀県立致遠館高等学校>

Surface と Copilot を活用し、Python を用いた 3D ゲームプログラミングの授業を実施。生徒は Copilot を通じて AI との対話や試行錯誤を重ねながらプログラムを作成し、自ら考える力や問題解決能力を養う新たな学習方法を体験した。

Surface は高性能でサクサク動いて、画質が本当に良いと思いました。肌触りもとても良く、キーボードも打ちやすかったです。自分用の端末のほかに、PC 教室でこういう高性能な PC が使えると学ぶ意欲が高まり、学びやすくなると思います。

—授業に参加した高校生より



◀詳細はこちらから

●モジュール

モジュールNo.	項目	概要	参考価格（税込）
	複業先生授業1コマ（60分、1名）	外部人材による、児童・生徒向け授業・教員向け研修 事務局による授業までの伴走支援（フルサポート）有り 授業後のレポート。 ※授業の回数に応じて料金が追加となります	¥ 54,450
	Microsoft 365 Copilot ライセンス	Microsoft/Office 365 Education（Microsoft 365 A1,A3,A5、 Office 365 A1,A3,A5）ライセンスをお持ちの18歳以上の教育機関のお 客様を対象に、職場向け Copilot（Business Chat）が使用可能。 Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Teams などのアプリ内で Microsoft 365 Copilot が使用可能。	¥4,497/ユーザー （1ユーザーあたりの 月額。年間契約の場合）
	Surface Hub 3（50 インチ）本体*	Surface Hub 3 は、教育機関におけるコラボレーションと学習体験を向 上させるためのオールインワン デバイスです。 この Hub は 50 インチです。 *本体のみの参考価格です（ペンやカメラは付属しています）。 別途配送費用等が発生します。詳しくはSurface 認定リセ ラーにご確認ください。	¥ 1,493,580
	Surface Hub 3（85 インチ）本体*	Surface Hub 3 は、教育機関におけるコラボレーションと学習体験を向 上させるためのオールインワン デバイスです。 この Hub は 85 インチです。 *本体のみの参考価格です（ペンやカメラは付属しています）。 別途配送費用等が発生します。詳しくはSurface 認定リセ ラーにご確認ください。	¥ 3,628,680
	Copilot+ PC Surface Pro 本体* （メモリ 16GB / ストレージ 256GB ～メモリ 32GB /ストレージ 1TB）	Surface Copilot+ PC は、教育機関に最適な AI 活用のために設計 された、AI 機能を強化した最先端のパソコンです。 Surface Pro は 2-in-1 型のタブレット型です。 *本体のみの参考価格です。Pro 用のキーボードやペン（別売で す。詳しくは Surface 認定リセラーにご確認ください。	¥ 204,380～
	Copilot+ PC Surface Laptop 本体* （メモリ 16GB / ストレージ 256GB ～メモリ 32GB /ストレージ 1TB）	Surface Copilot+ PC は、教育機関に最適な AI 活用のために設計 された、AI 機能を強化した最先端のパソコンです。 Surface Laptop は ラップトップ型です。 *本体のみの参考価格です。詳しくは Surface 認定リセラーに ご確認ください。	¥ 204,380～